



10.災害医療に関する臨床指標

<在籍する DMAT・DPAT 隊員、災害医療コーディネーター等の現状>

DMAT 資格種別	職種	2019(平成 31/令和元)年度	2020(令和 2)年度	2021(令和 3)年度
日本 DMAT 隊員数	医師	6	6	7
	看護師	10	10	11
	業務調整員	5	6	6
神奈川 DMAT-L 隊員数	医師	2	3	3
	看護師	9	8	8
	業務調整員	3	4	3
川崎 DMAT 隊員数	医師	16	16	19
	看護師	24	25	29
	業務調整員	13	13	14
かながわ DPAT 隊員数	医師	4	4	5
	看護師	3	3	4
	業務調整員	2	1	2
神奈川県災害医療コーディネーター	医師	1	1	1
川崎市災害医療コーディネーター	医師	1	1	1
災害時小児周産期リエゾン	医師	4	4	3
合計(複数資格保有者をそれぞれにカウントした場合)		103	105	116
合計(各種 DMAT・DPAT 隊員資格保有者の実人数)			72	82

解説文

<DMAT・DPAT>

DMAT(Disaster Medical Assistance Team)とは災害急性期に被災地内へ派遣される医療チームであり、医師・看護師・業務調整員(医師・看護師以外の医療職者や事務員)で構成され、大規模自然災害発生時の被災地や多数傷病者が発生した事故・事件現場等へ出動し救命医療を行います。当院には日本 DMAT 隊員(厚生労働省所管)、神奈川 DMAT-L 隊員(神奈川県所管)、川崎 DMAT 隊員(川崎市所管)が在籍しており、全ての隊員は災害医療という特殊な環境下で医療活動に従事するためのトレーニングを受けています。過去には東日本大震災、熊本地震、茨城県常総市における水害、2019年5月に発生した多摩区登戸新町における連続殺傷事件、2020年2月に発生した横浜港停泊中の大型クルーズ船における新型コロナウイルス感染症(以下 COVID-19)感染拡大事案等において現場派遣を行っています。

DPAT(Disaster Psychiatric Assistance Team)とは災害急性期に被災地内へ派遣される精神保健医療チームであり、DMATと同様のメンバーで構成され、低下した被災地域の精神保健医療機能を支援する活動、さらに災害ストレス等により精神的問題が生じた傷病者への対応等を行います。

<災害医療コーディネーター>

日本 DMAT 隊員資格を保有する医師の中には神奈川県災害医療コーディネーターや川崎市災害医療コーディネーターの委嘱を受けている者が在籍し、有事の際には行政機関が設置する保健医療調整本部内での活動も行っています。その経験を活かし、2018年7月に発生した西日本豪雨災害では医師1名が被災地へ赴き、倉敷市内での保健医療活動をサポートしました。2019年10月の台風19号被害発生時には、神奈川県からの要請を受け、神奈川県庁への派遣を行いました。また、COVID-19感染拡大事案では、神奈川県や川崎市に設置された医療調整本部への派遣も行っています。

<災害時小児周産期リエゾン>

保健医療調整本部で活動を行う災害医療コーディネーターと連携し、小児周産期医療に関わる保健医療活動の総合調整を適切かつ円滑に行えるよう助言や支援を行う役割を担っています。COVID-19感染拡大事案においても小児周産期患者の搬送調整等を行っています。

<災害時の透析医療>

透析医療体制の整備を目的とした神奈川県透析危機対策協議会や川崎市透析災害対策協議会にも医師、看護師、臨床工学技士が透析医療分野の専門家として参画しています。

<病院外における訓練・研修への参加回数>

	2019(平成 31/令和元)年度	2020(令和 2)年度	2021(令和 3)年度
国主催の訓練・研修	2	0	0
県主催の訓練・研修	5	0	2
市・区主催の訓練・研修	11	3	1
国・県・市・医師会主催の通信訓練等	-	-	15
消防機関等主催の訓練	2	0	0
DMAT・DPAT 隊員の技能維持に係る研修	2	0	3
合計	22	3	21

<病院内における災害研修会受講者数>

	2019(平成 31/令和元)年度	2020(令和 2)年度	2021(令和 3)年度
医師(研修医)	38	44	40
看護師	29	29	31
コメディカル	6	4	6
事務員・大学教員・研究員等	11	13	17
合計	84	90	94

◆ 1 年間に 4～5 回の研修を受講するコースであり、2007(平成 19)年度から毎年開催しております。

解説文

<訓練・研修への参加>

過去の災害で得た教訓を基に、行政・消防・警察や近隣医療機関との連携が重要視されていることから、平常時から様々な訓練に積極的に参加し連携体制の強化を目指しています。2021 年度は COVID-19 感染拡大の影響で各種訓練が中止となり、参加機会が大幅に減少しましたが、小規模な通信訓練等には積極的に参加しました。病院の防災・災害対策を推進する病院防災部会は各部署から選出されたメンバーで構成されており、DMAT 隊員や DPAT 隊員と共に病院内の研修や訓練の企画に参画し、教職員への災害教育を実施しています。2007 年度から継続的に開催している災害研修会には、毎年多職種者が受講をしており、災害拠点病院の職員としての知識や技術の習得をしています。